

2023年-2024年度 健康経営プロジェクト報告書

丸尾興商株式会社

更新日:2024年10月



01

企業情報-概要-



会 社 名 丸尾興商株式会社

創 業 1951年1月

代表取締役社長 丸尾高史

資 本 金 6,000万円

社 員 数 326名(男性195名/女性131名)
※2024.10.01現在

事 業 内 容 管工機材・機械 工具・住設機器・電機機器・空調機器・産業設備機器・
電材・建材の卸販売、リノベーションの提案施工 など

事 業 部 水道事業部、機工事業部、住建事業部
海外事業部、Wonderwall事業部

事 業 所 本社、袋井支社、浜松支社、藤枝本管部、
DC静岡、DC東部、DC都田、築地ベース、元島田ベース、
TC静岡、TC川根、TC御前崎、輸入壁紙専門店Wonderwall

主 要 納 入 先 製造メーカー、上下水道衛生設備業者、
ハウスメーカー、工務店、リフォーム店、空調・電気設備業者

一 般 建 設 業 許 可 静岡県知事許可(般-2)第36401号 …
土木工事業、建築工事業、管工事業、電気工事業
静岡県知事許可(般-3)第36401号 …
とび・土工工事業、ガラス工事業、建具工事業
静岡県知事許可(般-5)第36401号 …
機械器具設置工事業



代表取締役社長

丸尾高史

02

健康経営の戦略



- **経営上の課題**

子育て世代・要介護家族を抱える社員が増加。
生産性を確保するためにも、
働きやすい労働環境を整える必要性がでてきた。

- **健康経営の実施により期待する効果**

ワークライフバランスを重視した働き方に
変えることで、様々なストレスや
身体的・精神的な負担を軽減化でき、
労働の効率化と生産性が上がることが期待される。
また、働きやすい環境づくりのために社内リフォームプロジェクトを
立上げ実施しており、継続することで社員が自発的に
改善に取り組むことができる環境となることが期待できる。

- **具体的な数値目標/設定の背景**

健康宣言の5つの取り組みを主要な指標とし、毎年計測する。
この5つの取り組みは社員のQOL向上につながり、
企業の発展とともに形成していく上で必要なものと判断。

03

健康宣言



当社は「あらゆる商材を、ワンストップでより深く、革新的なお客様サポート企業へ」をVisionとしております。その実践のために従業員の健康を守り、活力ある職場環境を構築するため、従業員の健康づくりに取り組むことを宣言します。

<取り組み内容>

- 社員の健診100%
- メンタルヘルス
- 生活習慣改善
- 適正な働き方
- 禁煙・分煙対策



協会けんぽ静岡支部の
ふじの健康づくり推進にて宣言

04

健康経営取組み






<2023年度～2024年度結果>



2023・2024年度 健康経営取組みの経年比較

2023年度：2022年4月～2023年10月

2024年度：2023年4月～2024年10月

	2023年度	2024年度
 健康診断受診率	100%	100%
 育休取得率	100%	100%
 月平均残業時間	8.3時間	7.7時間
 喫煙率	28%	26%
 健康意識※	25.7%	35.4%

※同僚や友人に比べて生活習慣に気を付けている方だと思うかに対して「とてもそう思う」「そう思う」と回答した比率



「2024年度の成果と効果検証」

2024年度は月平均残業時間、喫煙率が前年比より改善。

- ① 時間単位有給の制度に関する内容を研修。
取得方法のみならず、ワークライフバランスを重視した働き方の成功事例を紹介。
年間時間有給の取得合計時間が社員一人当たり平均3.8時間から5.8時間に増えた。
- ② 2023年度は、アンケートでも要望の声が一部あり、「完全禁煙」を導入した。
- ③ 育児休暇を取得促進のため、休暇取得者にインセンティブ5万円を支給。
時間単位休暇や特別休暇の取得の推奨。
- ④ 社員及び家族1名のスポーツジム利用を会社が全額負担。
2名以上の家族利用は割引価格で利用可能とし運動を推奨

<今後の展望> 残業をできるだけ減らし、休みを取りやすい環境をつくりながら、業務の生産性を落とすことなく維持できる方法を社員の声をききながら継続していく。

05

健康経営の取り組みに関する効果検証



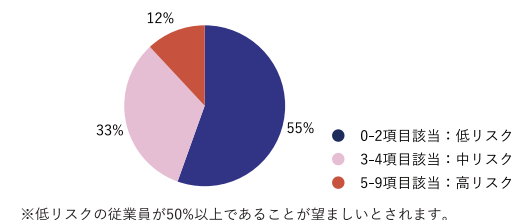
プレゼンティーズムと健康リスクの関連

「生活習慣リスク」「心理的リスク」に関する9つの項目で、従業員の健康リスクを把握しました。該当する健康リスクの数（図表1）に応じて、従業員を3グループに分類し（図表2）、各グループの労働生産性の低下率を算出しました。（図表3）企業の生産性の向上のためには、高リスク者を減らすことが重要であると分かります。

（図表1）

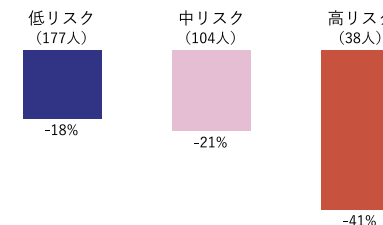
	健康リスクの評価項目	従業員の リスク該当率の割合
生活習慣 リスク	①喫煙習慣あり	26%
	②過度な飲酒習慣あり	12%
	③運動習慣なし	82%
	④睡眠が不十分	39%
心理的 リスク	⑤不定愁訴あり	22%
	⑥主観的健康感が悪い	9%
	⑦高ストレス	18%
	⑧仕事満足度が低い	32%
	⑨家庭満足度が低い	11%

（図表2）



各リスクレベルのプレゼンティーズムの
平均値を比較します。

（図表3） 労働生産性の低下率
プレゼンティーズムの平均値（%）



*上記は、東京大学
古井・村松・井出「中小企業における労働生産性の損失とその影響要因」日本労働研究雑誌
平成30年6月号と同じ手法により算出しています。

健康経営取り組みにおいて効果検証を、アクサ生命保険(株)の提供する従業員アンケートを使い、東京大学・広島大学の研究機関のプレゼンティーズム計算方法で算出し、実験的に実施しました。健康リスク評価9項目を基にプレゼンティーズムによる労働生産性の損失コストを算出し、2025年度にむけ新たな取り組みを決め、改善を実施してまいります。(健康経営の経営的視点による取り組み結果)健康リスクの割合が上記※1の統計データと比較すると、

当社は平均よりもリスクが少なかったことが確認できました。

引き続き、健康経営エキスパートアドバイザーと連携してよりよい取り組みを行ってまいります。



1 健康関連指標の変化と目標値

健康関連指標	2023年度	2024年度	目標値 (2025年度)	最終目標値 (2027年度)
定期健康診断	100%	100%	100%	100%
喫煙率	28%	26%	25%	22%
アブセンティーズム <small>(傷病による平均欠勤日数)</small>	2.9日	3.1日	2.8日	2.5日
プレゼンティーズム <small>(東京大学1問方式による生産性低下率)</small>	25%	22%	21%	21%
ワーク・エンゲージメント <small>(新職業性ストレスチェックのワークエンゲージメントに関する設問【2項目】によるスコア)</small>	2.3	2.4	2.6	2.8
仕事満足度 <small>(従業員アンケート調査によるスコア)</small>	2.5	2.6	2.7	3.0

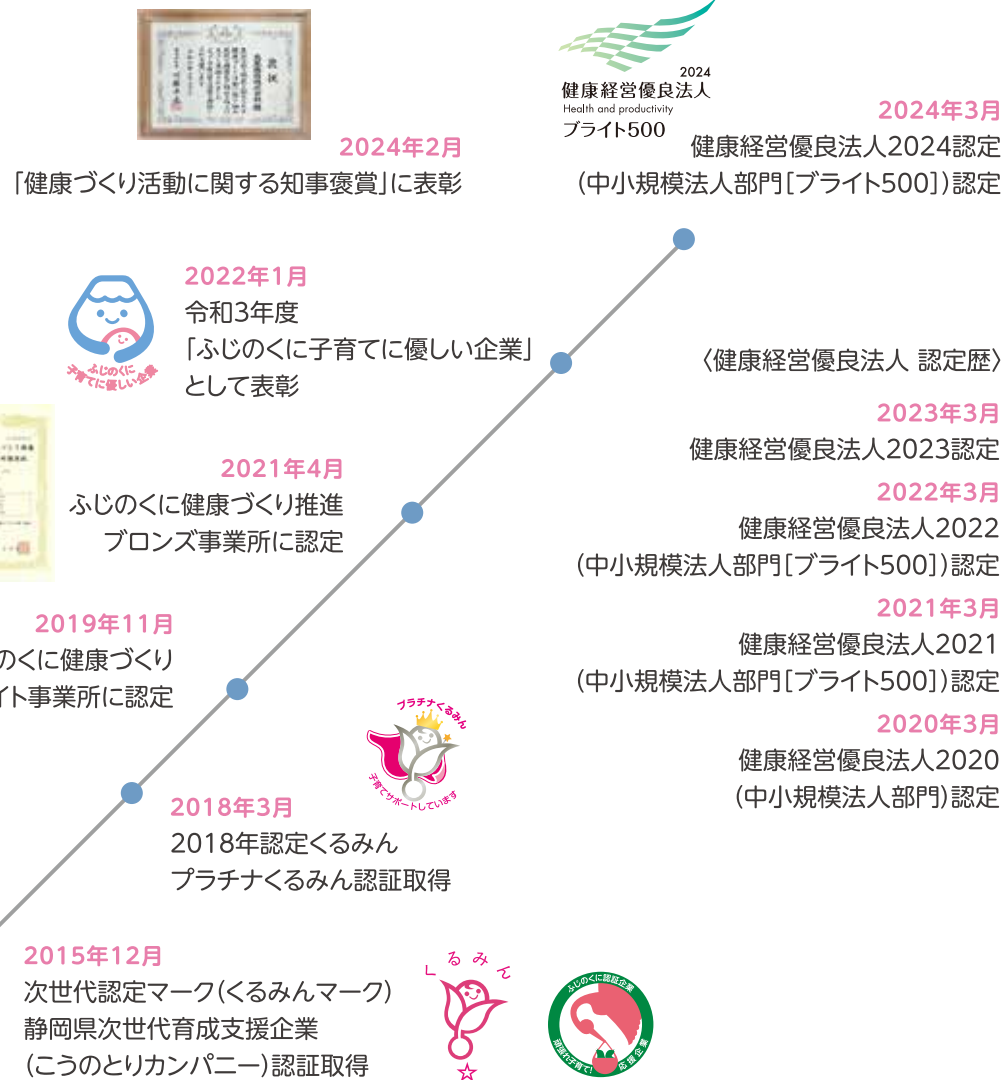
2 健康経営施策の参加率



施策内容	参加率
スポーツジム利用 ※利用料全額会社負担	利用者数累計 166名 利用回数累計 1,090回 (2024年8月～9月) ※県内店舗のみ、ご家族利用者も含む
自転車通勤奨励制度	制度利用者 3名 (2024年5月～9月)
管理職向けラインケア研修 ● ラインケアとは ● 健康経営との繋がり ● アンガーマネジメント	対象者 46名 (2023年8月) リアルタイム参加:32名 動画視聴:14名

06

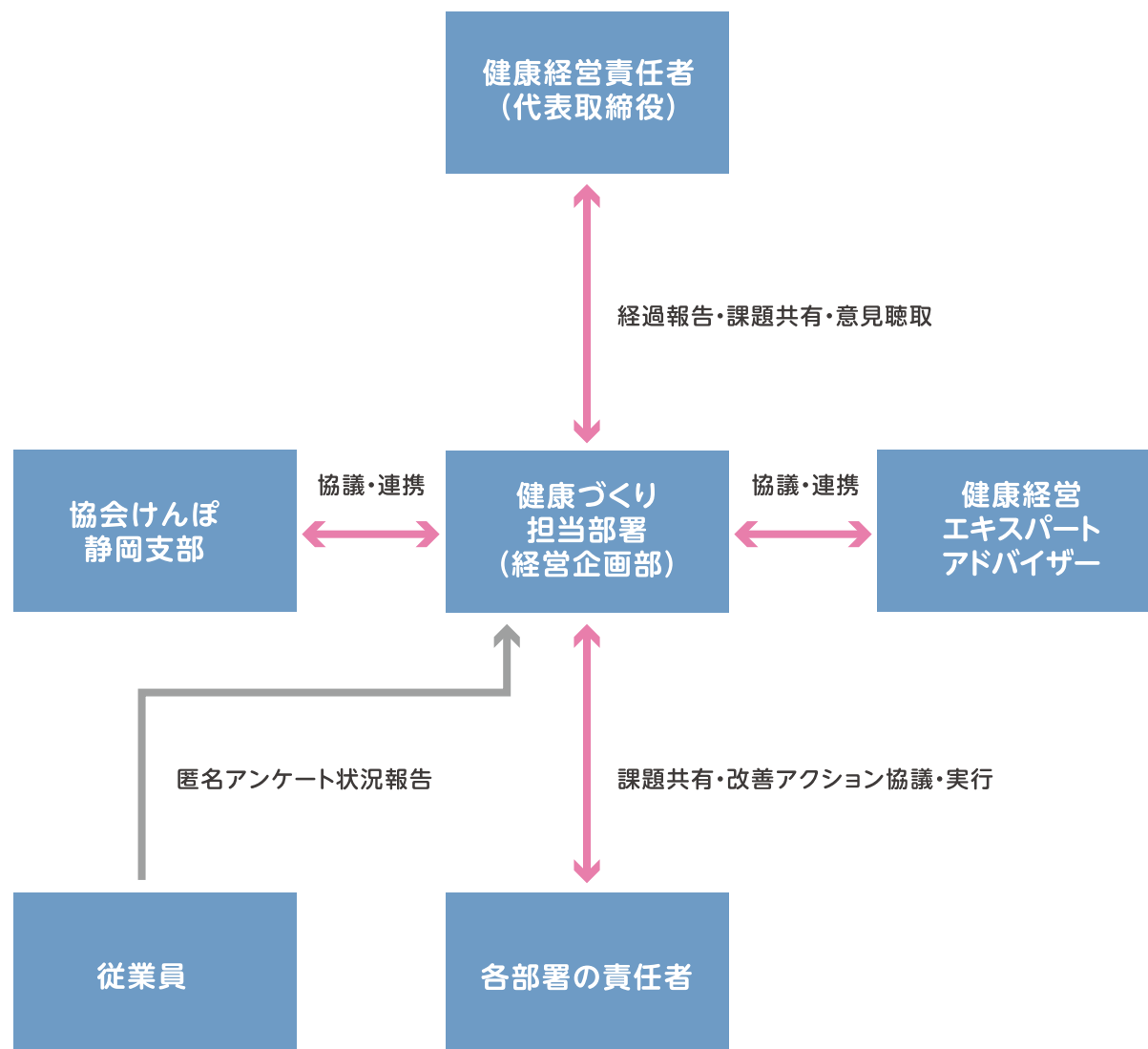
健康経営の取り組みに至るまで…



働く全従業員の健康と子育て支援をしております。従業員の健康増進や豊かさをサポートしたいという思いから、健康経営を導入しています。従業員の健康管理を経営的な視点で考え、今後も継続して従業員のワークエンゲイジメントの向上に取り組んで参ります。

07

当社の健康経営 推進体制





今後の課題への取組みについて

